

2017.3.30発行  
奄美野生生物保護センター  
〒894-3104 鹿児島県大島郡大和村思勝字腰ノ畑551  
TEL：0997-55-8620 FAX：0997-55-8621  
URL：http://amami-wcc.net/

編集・発行  
奄美自然体験活動推進  
協議会  
合併号  
通巻58号・59号

奄美野生生物保護センター  
ニュースレター

# 奄美の風だより



うらかな陽気の中、鳥たちのさえずりが響き渡っています。でもたまに、声がかすれてるよ～、音程がはずれてる！と少し面白いさえずりが聞こえます。さえずりはじめたばかりの若い個体は練習中なのでしょう。気の抜けるようなさえずりを聞きながら、気持ちの良い春の訪れを感じます。

世界自然遺産奄美トレイルが奄美大島、徳之島、沖永良部島で開通しました。33年度までに全ての島で開通予定です。魅力が詰め込まれたコースをみなさま利用してみたいでしょうか。地元の方々も参加しコースが選定されたそうなので、見どころが満載です。ぜひ、自分たちの知らない魅力を探しにいったはいかがでしょう。ちなみに個人的にですが、知らない素晴らしい場所を知ることができ、かなり大満足でした！おススメですよ。

利用された方もまだの方も、休日の新しいアクティビティの一つにいれてはいかがでしょう。

さて、奄美群島国立公園は今年の3月7日に1周年を迎えました。自分たちの島の国立公園には行かれましたか。素晴らしい場所がたくさんありますので、ぜひ自分のお気に入りの場所を見つけてください。（吉田）

# 2月に見られる動植物



チョウゲンボウ  
冬鳥。キジバトより少し大きい。尾が長く先端に黒い帯がある。農耕地や草地などの見晴らしのよいところで、ネズミなどの獲物を探す。



ケブカコフキコガネ  
中琉球固有種。成虫が冬に発生するという特異な生態をもっている。奄美群島のものは奄美亜種とされる。



ヤマビワソウ  
奄美大島以南に分布。山地のやや湿り気のある林縁の斜面などに生える。冬になる白い実は、ほんのり甘味がある。



ミズガンピ  
喜界島、徳之島、沖永良部島、与論島、沖縄諸島、先島諸島。海岸の隆起サンゴ礁の上をはうように群生する。花は通年咲く。



【リュウキュウコスミレ】



【リュウキュウシロスミレ】



## 今季の一枚 「リュウキュウコスミレとリュウキュウシロスミレ」

身近に見ることができるリュウキュウコスミレ。紫色をした花をよく見ますが、色はさまざまで、白いものもあります。そしてこのリュウキュウコスミレにそっくりなのがリュウキュウシロスミレ。白い花卉だけではなく紫色をしたものもあります。この2種、花の色・かたちがそっくりで見分けるにはコツがあります。葉の形もそうですが、一番分かりやすいのはリュウキュウシロスミレの花弁の根元には毛があること。この毛があるかないかで判別できます。よくよく観察してみてください。

# 3月に見られる動植物



アオモシ

九州以南に分布。山地の林縁など日当たりのよい場所に生える。材には芳香があるので、楊枝などに使われる。果実も香料となる。



イワタイゲキ

関東南部以南に分布。海岸の岩場に生える。沖永良部島には固有種リュウキュウタイゲキが分布する。



リュウキュウコケリンドウ

屋久島、宝島、喜界島、徳之島、沖永良部島に分布。花期は3～4月。海岸の砂れき地に生える。海岸開発等で数が減った。



キクラゲ

春から秋に枯れた広葉樹に生える。透明感があるきのこ。耳の形に似ているので、学名は耳に由来する。沖永良部島では栽培されている。



アカウミガメのオス



アオウミガメの交尾

## 今季の一枚 「ウミガメの繁殖期」

産卵はこれからですが、交尾などの繁殖行動が始まる時期です。左の写真は今年ではありませんが、3月末に撮られたものです。奄美群島ではアオウミガメの亜成体が一年中見られ、繁殖期となる春から夏にかけてはアカウミガメも見ることができます。アオウミガメもアカウミガメも繁殖期になると交尾海域まで移動します。アオウミガメは産卵地の近い海で交尾を行いますが、アカウミガメは産卵場所から遠く離れた場所で交尾が行われることが多いようです。今年もたくさんのウミガメが上陸し、産卵してほしいですね。



# 奄美群島市町村だより

自分たちの地域の魅力を再発見し、また他の地域のことを知り、奄美の自然について理解を深めましょう。



## 今回は 知名町 です



田皆岬

知名町は沖永良部島の南西部に位置し、海拔245mの大山を中心にその裾野に21の集落が形成されています。地下には多数の鍾乳洞が存在し、近年はケイビングが注目を浴びています。

### 【ハイビスカス】

### 知名町の花

南国をイメージさせる代表的な花であり、1年を通じて色とりどりの大輪の花を咲かせ、見る人の目を楽しませます。



## 自然環境への地域の取り組みの紹介「プロジェクト未来遺産2017登録」



公益社団法人日本ユネスコ協会連盟は、地域の豊かな自然や文化を100年後の子どもたちに残すために、毎年、地域の市民団体が取り組む活動を『プロジェクト未来遺産』として登録しています。

2017年12月4日(月)、東京大学で未来遺産委員会が開催され、本町瀬利覚集落のNPOファンブル塾(名水のむらジッキョ、自立・創造委員会)が行っている「子供と命をつなぐジッキョヌホーのトウギョの里プロジェクト」が、鹿児島県内では初めてこの未来遺産に登録されました。



登録証伝達式



ジッキョヌホー

タイワンキンギョの和名はトウギョで、方言名でトーイユとも呼ばれます。日本では沖縄本島と渡嘉敷島、久米島、石垣島、沖永良部島だけに分布しています。水田の淡水域に生息する絶滅危惧種IA(環境省)に指定されている魚類で、かつては島の水田やその周辺にごく普通に生息していましたが、水田の減少により、野生ではほとんど見られなくなりました。

本プロジェクトは2014年に始まりました。専門家の指導を受けながら、地域住民や子どもたちとともにビオトープを造成し、その中にトウギョを放流し、保全・増殖を行ってきました。湧水池ジッキョヌホーでは歴史を学び、地域固有の自然環境や文化の継承に取り組んでいます。



トウギョ勉強会



ビオトープ造成



ビオトープ観察会

(知名町 企画振興課)



# 奄美群島市町村だより

自分たちの地域の魅力を再発見し、また他の地域のことを知り、奄美の自然について理解を深めましょう。



今回は  
**天城町**  
です



天城町全景

天城町は徳之島の北西部にあり、島のほぼ西半分を占めます。例年梅雨明け頃開催されるトライアスロン IN 徳之島が有名で、鉄人たちの島とも言われ、自然そのものがスポーツに最適な環境です。

## 【タイワンヤマツツジ】

## 天城町の花

奄美大島を北限として台湾・中国大陸にかけて分布し、徳之島の山野にも自生する赤い花のツツジで、花も葉も小ぶりなのが特徴です。



## 自然環境への地域の取り組みの紹介「自然保護専門員による出前授業」



天城町では、徳之島の自然環境に関して専門的知識を有した「自然保護専門員」を配置し、世界自然遺産登録や自然保護に関する普及啓発に取り組んでいます。なかでも、世界に誇る徳之島の豊かな自然を次世代に伝えることを目的として、小中学校等における出前授業に力を入れており、平成 26 年度からこれまでに 30 回以上、延べ 1000 人近くの児童・生徒が受講しています。出前授業は、座学による解説だけでなく、国立公園区域や世界自然遺産候補地など実際の自然環境のなかで、生き物観察会や体験活動等も行っています。



なかには、はじめて森あそびをする子どもたちもいて、目に入るもの手に触れるものすべてに興味を示してくれます。保護者の方も、島で生まれ育ちながら島の固有種・希少種について学ぶ機会が少なく、「徳之島にもこんなに素晴らしい自然があったのか」と感動していただけます。

一人でも多くの子どもたちが身近な自然の素晴らしさを理解し、好きになってもらうことで、徳之島の豊かな自然が将来に渡って守られるよう、今後も自然保護専門員による環境教育を推進していきます。

(天城町 企画課)



# いきもののふしぎ ~ アマミサソリモドキのお話 ~



道や庭、畑、たまに家にまで入ってくるので、目にしたことのある人は多いはず。特に珍しい生きものではありませんが、その生態を知っている人はなかなか少ないのではないのでしょうか。身近だけど意外と謎の多いアマミサソリモドキをご紹介します。



## サソリモドキとは？

サソリモドキの仲間は世界で 120 種ほど生息しています。日本には、2 種が分布しており、奄美群島にはアマミサソリモドキ、沖縄諸島以南にはタイワンサソリモドキがいます。サソリモドキ類は世界3大奇蟲の一つとして人気があります。

## アマミサソリモドキの形態・生態



触肢のこのはさみの部分で  
エサを捕まえる

### オスとメスの見分け方 【触肢をみる！！】



オス：先が丸まっている

メス：先が尖っている



肛門腺から酢酸臭の液を射出する。  
液の成分は、主に酢酸。



夜行性



昆虫や土壌動物、カタツムリなどを食べるが、腐肉を食べる姿も確認されている。



▲(左) リュウキュウアオヘビ、(右) アマミノクロウサギの死体を食べる

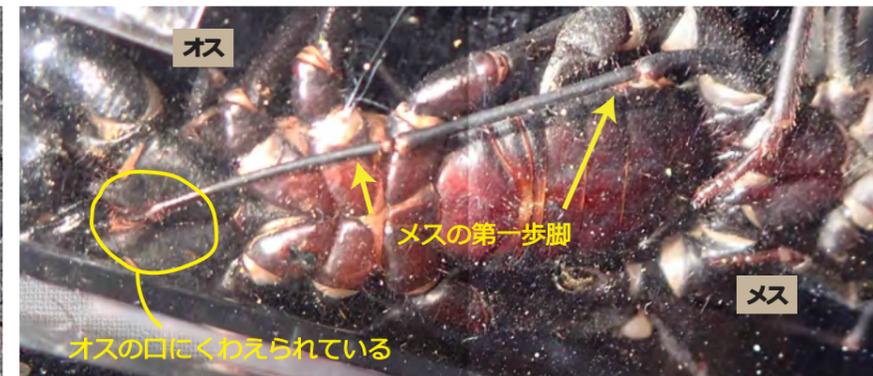
## 奄美群島の分布について

現在、奄美群島でアマミサソリモドキが分布している島は、奄美大島、喜界島、徳之島です。しかし、アマミサソリモドキの分布についての情報は図鑑などにもあまり載っていないためあいまいです。ですので、きちんと調査すれば他の島にも生息しているかもしれません。また喜界島で生息しているものは、もしかすると奄美大島から運ばれた土や観葉植物などから移動したものかもしれません。実際に、本州に生息しているアマミサソリモドキの一部は、奄美大島産のものだとわかっています。観葉植物などに紛れて入ったと言われています。奄美大島と徳之島では身近な生きものですが、実は調査はあまりされておらず、わからないことがたくさんあるのです。

## 繁殖行動など

ユニークな繁殖行動をご紹介します

まず、婚姻ダンスと呼ばれる行動が行われます。オスとメスが前後に並び、後ろにいるメスの第一歩脚をオスがくわえます。左脚をくわえていることが多いようです。



連結しながらうろろうと動いた後、オスが急にメスから離れ、今度はメスと向かいあう形でメスを抑え込みます。オスはメスの生殖口に精子の袋を触肢を使って押し込みます。



卵はメスがお腹にくっつけて守ります。孵化直後の子どもたちは白く、母親の背中やお腹にくっついて生活します。背中の上などで数週間過ごし、地中で約2週間休眠した後、脱皮して若虫になり、さらに数年かけて成熟するそうです。

## 巣あな

アマミサソリモドキは夜行性です。昼間は石の下や土に空いた穴の中などの隙間にかくれ、夜になると食事をするために出てきます。斜面などの穴にいるところよく見ますが、この穴はカニなどが空けたものなのか、それとも自分であけたものかはなぞです。



## まとめ

アマミサソリモドキを調べると飼育記録などはすぐにできますが、野生下での生態などについては、論文の数も限られます。身近に見られる方はぜひ観察してみてください。与論島、沖永良部島での目撃情報があればご一報ください。

参考文献 アマミサソリモドキの生息地における交配行動 第2報(今泉晃 <http://www.momo-p.com/index.php?movieid=momo151104ts01b&embed=on>) オオムカデを捕食するアマミサソリモドキ(巨悠哉 <http://movspec.mus-nh.city.osaka.jp/ethol/showdetail.php?movieid=momo090818ts01b>) 日本動物百科第8巻昆虫I(平凡社 監修:日高敏隆) 日本産土壌生物(東海大学出版会編著:青木淳一) 国立環境研究所 侵入生物データベース (<https://www.nies.go.jp/biodiversity/invasive/DB/detail/70500.html>) サソリモドキの生殖習性(吉倉真) 節足動物の多様性と系統(裳華房 編:石川良輔) Phylogeographic Study of Whip Scorpions (Chelicerata: Arachnida: Thelyphonida) in Japan and Taiwan (Shigenori Karasawa, Satomi Nagata, Jun-ichi Aoki, Masanao Honda)

# いきもののふしぎ ~ たまごのお話 ~



ポイント

## たまごいろいろ

卵といっても、殻があるものないもの。卵をお腹の中で育てる卵胎生のものなどそれぞれの特徴があります。孵化するまでもそれぞれで違います。産んだまま放置したり親が守ったり、守り方も親が体にくっついたり口内保育したり、さまざまです。



**アマミアオガエル**  
水場の上に泡状の卵を産む。  
1週間ほどでオタマジャクシになり泡と一緒に落ちる。



**ヒメアマガエル**  
卵はシート状のゼラチンに覆われ、水面に広がるようになっている。



**アマミシリケンイモリ**  
葉に産み付け、隠すように包む。



**アマミハナサキガエル**  
一つ一つ独立した卵がくっついている形状。ハロウエルアマガエルなどもこの形状の卵。



**ヤモリの仲間**  
一度に2つの卵を暗い場所に産み付ける。



**ルリカケス**  
青い色をした卵。鳥の卵は種によって色・模様が全然違うので、比較すると面白い。



**スクミリングガイ**  
水田や池などに生息。外来種で農作物の食害を引き起こす。



**カタツムリの仲間**  
土や落ち葉の下に産む。

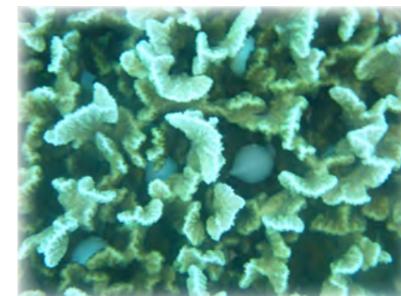


**アマミサソリモドキ**  
メスのお腹にくっついており、孵化するまで守る。

暖かな季節になりさまざまな生きものたちの繁殖の時期となりました。身近な生きものでも卵は見たことがない、ということも多いはず。今回は、さまざまな生きものたちの卵をご紹介します。



**カニの仲間**  
メスのお腹で孵化するまで守る。



**コブシメ**  
サンゴの隙間に一つずつに産み付ける。



**クマノミ**  
孵化するまでオスが守る。



**サンゴの仲間**  
バンドルと呼ばれる卵が入ったカプセルを産み落とす。遠く離れた場所でも匂いがわかるくらい、生臭い匂いがする。



**ウミガメの仲間**  
砂浜に穴を掘り産卵する。子ガメの性別は砂浜の温度で決まる。



**スズメダイの仲間**  
サンゴの岩肌に産み付ける。孵化するまでオスが守る。



**カメムシの仲間**  
葉や民家の壁などに産み付ける。



**アシダカグモ**  
メスが抱えて移動する。孵化した子どもは親の背にのる。





## あまみワイルドライフセミナー

奄美の生きもの持ち方教室「持ってみよう！身近な生きものたち！」

と き：平成29年11月11日（土） 14:00～15:30

場 所：大和村防災センター（大和村思勝字永良 477-1）

来場人数：83名

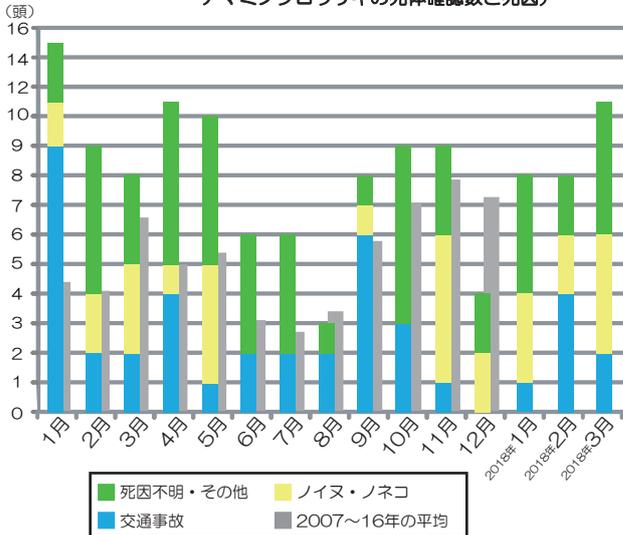
講 師：松橋利光氏（生きものカメラマン）

奄美大島の身近な生きものについて学び、観察したり、触れたりすることで、自然環境や生物多様性について興味を深めることを目的として開催しました。



## アマミノクロウサギ死体確認数

(2018年3月末日時点の  
アマミノクロウサギの死体確認数と死因)



※アマミノクロウサギがケガをしていたり、死んでいるのを発見したら奄美野生生物保護センターまで連絡して下さい。



## 奄美に住む動物たちのために、あなたができること

### 安全運転

特に夜間の林道ではゆっくり走行しましょう。

### 犬・ねこの適正飼育

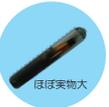
野生化した犬・ねこは、アマミノクロウサギをはじめとした「奄美の森の宝」を食べてしまうこともあります。

#### ❌ 捨てない

最後まで責任をもって飼いましょう。

#### ❌ マイクロチップ

ペットの確実な身元証明になります。



#### ❌ 避妊・去勢手術

繁殖制限することで、望まれない命を生み出さないこと、ペットの健康を守ることにあります。

#### ❌ 放し飼いをしない

ねこは室内飼育、犬は室内もしくはリードをつけて外で飼いましょう。

## 🐾 犬・ねこに関するお知らせ 🐾

ワクチンには、狂犬病ワクチンだけではなく、犬猫をさまざまな病気から守る混合ワクチンというものがあります。犬ねこがかかる病気はさまざまありますが、ワクチンによって防げる場合があります。また、病気になってしまっても軽くすむので、健康に過ごせる可能性を高めることができます。年に1回打つことが推奨されています。

## いきものおもしろ写真館



カタツムリの目  
菌類？植物？いやいやカタツムリの触角と目なんです。触角の上にある黒い点が目です。カタツムリの目は明るい・暗いかわかるくらいでさそうです。そして触角を切られても目も一緒に再生するそう。すごい能力ですね。

## 編集後記



今年の冬は寒かったです。霰もよく降りました。しかし、例年だと冬の間見られない、ジョロウグモやオオジョロウグモを見ることができました。20℃になる日もあったのでどうにか生き残ることができたのでしょうか。気になります。